

男女共同参画について学べる

「出前講座」

出前講座は、花巻市男女共同参画推進員による男女共同参画についての解説や寸劇を通して男女共同参画社会について楽しく考えられる内容になっています。希望する時間に合わせてメニューを組み合わせることもできます。コミュニティ会議や地域などの集まりの際に、出前講座を利用し、男女共同参画について学習してみませんか。

■出前講座の内容

メニュー	内容
ちょっと待った！ (20分程度)	男性3人の飲み会で妻の愚痴を言い合う夫たちに対し「ちょっと待った！」と反撃する妻の話から、お互いについてもう一度考えてみましょう。
えっ！私が役員！？ (20分程度)	自治会に女性の役員を選出することになり、会長たちはみんなが推薦する2人の女性に当たってみます。しかし、1人はかたくなに辞退。もう1人はやる気はあるものの夫が反対します。女性役員の選出は前途多難です。
息子がご飯支度？ (10分程度)	娘と息子がいる東和子さん。2人とも結婚して共稼ぎです。娘婿が家事をしてくれることに喜んでいましたが、東京にいる息子のところに行くと…？
グループワークと簡単な講話 (30分～1時間程度)	数人のグループ単位で身近なテーマについて、みんなで話し合いながら考えます。

- 講師 花巻市男女共同参画推進員
- 料金 無料
- 申込方法 開催の1カ月前を目安に下記へ電話でご相談のうえ申し込み  
※10人以上の参集で開催します
- 問い合わせ・申し込み 本館地域づくり課 (☎41-3514)



男女共同参画図書の紹介

男女共同参画に関連した書籍から市立図書館でお薦めする本を紹介します。男女共同参画週間に手に取ってみたいかがですか。

花巻図書館

『「ふつう」ってなんだ？ LGBTについて知る本』—特定非営利活動法人ReBit 監修/殿ヶ谷美由記 漫画(学研プラス)

メディアでもよく目にする「LGBT」について正しい知識を持つことは、これから生きるために必要なことです。多様な性のあり方を知り、自分らしさを見つけるための一冊です。



石鳥谷図書館

『タンタンゴはパパふたり』—ジャスティン・リチャードソン、ピーター・パーネル 文/ヘンリーコール 絵/尾辻かな子、前田和男 訳(ポット出版)

ニューヨークの「セントラル・パーク動物園」で起こった実話。子どもでも読みやすく、さまざまな家族の形があることを理解できる一冊です。



大迫図書館

『ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方 ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために』—多賀太 著(時事通信社)

男性稼ぎ手社会を壊すことは男性の生きづらさを解消します。男性たちの仕事と家庭をめぐる現状と課題について分かりやすく論じています。



東和図書館

『最後の講義完全版 これからの時代を生きるあなたへ 安心して弱者になれる社会をつくりたい』—上野千鶴子 著(主婦の友社)

女性が担ってきた家事、育児、介護など上野氏による研究の変遷と受講生との座談会を収録した、私たちの未来につながる心強い一冊です。



男女共同参画情報We(ウィー)「We」は日本語で「私たち」。男女共同参画を「私たちみんなで考え、みんなで進めたい」という願いが込められています。

6月は「いわて男女共同参画推進月間」、6月23～29日は全国「男女共同参画週間」

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ

(令和4年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)



知っていますか？ 「男女共同参画社会」

「男女共同参画社会」とは、みんなが共に仕事や家庭、地域生活など、さまざまな活動を自らの希望に沿った形で展開し、個性や能力を発揮することで、夢や希望を実現できる社会です。  
性別を問わず、制度や慣習による差別をなくし、利益や責任を分かち合い、誰もがお互いを尊重するという意味があります。

男女共同参画社会実現に向けて必要なこと

男女共同参画社会の実現のためには、次のようなさまざまな取り組みが必要です。

- ・社会における男女の参画の促進
- ・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活との調和)の推進
- ・ドメスティック・バイオレンス(DV)などの暴力を許さない社会づくり
- ・「男だから」「女だから」と性別によって役割を固定的に捉えることをなくす意識啓発

市の取り組みは？

市では、平成28～令和5年度を計画期間とする「第2次花巻市男女共同参画基本計画」に基づき、年次報告書を作成。年に1度計画の進捗状況を計り、事業の改善につなげていきます。  
今後も「男女(みんな)が互いに認め合い、ともにきらめくまち」を目指し、男女共同参画学習講座をはじめとする啓発活動、情報発信などを継続して行っていきます。

性別による固定的な役割分担意識をなくそう いわて宣言

東京圏以外の出身地から東京圏に流入した女性は、それ以外の女性に比べて「地元には『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という意識を持っている人が多い」と考えている人の割合が高いことが指摘されています(\*)。このことから、令和3年2月、「いわて女性の活躍促進連携会議」は、「いわてで働く推進協議会」との連名で宣言を行いました。

\*国土交通省「企業等の東京一極集中に関する懇談会とりまとめ」より

地域で男女共同参画を推進する 「花巻市男女共同参画推進員」

「花巻市男女共同参画推進員」は、地域における市民の皆さんへ向けた男女共同参画推進のための啓発活動のほか、女性に対する暴力をなくす運動のシンボルであるパープルリボンの作成・配布活動や、市の男女共同参画講座などのスタッフとしても活動しています。現在、16人の男女共同参画推進員が活躍しています。  
また、市民の皆さんからの依頼により、各種団体の研修会などに、男女共同参画社会について楽しく・気軽に学べる「出前講座」を行っています。



「パープルリボン」を着けた フラワーロールちゃん